

大阪 あちこち

●忠岡神社と三代句碑

忠岡町には歴史や文化を感じさせるスポットが複数ありますが、今回はその中から忠岡神社と三代句碑をご紹介します。

●忠岡神社

忠岡神社は、南海本線忠岡駅から北西に10分ほど歩いたところにあります。忠岡神社は、創立年代は不詳ですが、唐破葺春日造（からはぶきかすがづくり）と言われる神社建築様式や元禄14年の寺社改帳に、「古来よりある処の古社である」と記載されていることから、この時代に建立された神社であると推定されます。

また境内は、見事に生い茂った木々が閑静な雰囲気を出し、訪れる人々を神聖な気持ちにしてくれます。

忠岡神社の主祭神は菅原道真公です。その他の御祭神は、素盞鳴命（すさのおのみこと）、狭依毘賣命（さよりびめのみこと）などで、年中問わず様々な祈願に訪れています。

また、毎年秋には本町のだんじり祭りが行われ、安全曳行を祈願するため、忠岡神社に町内全4台のだんじりが宮入りし、お祭りの雰囲気が最高潮に達することで、見物スポットにもなっています。



忠岡神社

●三代句碑

忠岡神社の敷地内に、俳句雑誌「ホトトギス」を主宰した高濱虚子・年尾親子と年尾氏の次女でホトトギスを継がれた稲畑汀子（ていこ）氏の句碑があります。

虚子・年尾親子の句碑が、昭和46年にホトトギス同人であった故小島梅雨氏によって建てられ、平成元年には、汀子氏の句碑が建てられました。

刻まれている句は、

「大汐干 句会の船を 五六艘」虚子、
「その昔よりの 千鳥の洲なるべし」年尾、
「千鳥の洲とて 訪ねたき 心すぐ」汀子。

虚子氏の作品は、堺大浜にて詠んだもので、他の二句は、忠岡の浜に数百羽群れ飛んでいた千鳥と大津川の中洲を思っの作品です。

この親子三代の句碑は、本町と兵庫県芦屋市にしかない大変貴重なものです。また、“大阪ミュージアム”に登録されていますので、興味を抱かれた方は是非お越しください。



三代句碑

▼お問い合わせ先▼

忠岡町町長公室企画財政課

TEL 0725-22-1122

FAX 0725-22-0364